

最近の雇用失業情勢（令和7年8月の内容）

1 県内概況 「有効求人倍率は1.27倍（季調値）」（前月から0.02ポイント上昇）

- [概況]

□ 「雇用情勢は、**改善の動きが弱まっている**。物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。」

□ 有効求人倍率は**前月から0.02ポイント上昇**。
- [基調判断]

□ **《情勢維持》**
- [判断根拠]

□ 有効求人倍率が上昇しているが、一時的な動きも含めて、今後の状況を注視する必要があるため。

2 各指標の動向 新規求人数は運輸業・郵便業等で増。公務・その他、サービス業等で減。

[新規求人数]

当月：4,187人 公務・その他、サービス業等の減員等により－119人
（前年同月 2.8%減）

[産業分類別]

○「増」（対前年同月比）

【運輸業・郵便業】当月：326人 前年同月：＋35人

【医療・福祉】当月：994人 前年同月：＋50人

【卸売業・小売業】当月：618人 前年同月：＋26人

○「減」（対前年同月比）

【公務・その他】当月：50人 前年同月：－29人

【サービス業】当月：450人 前年同月：－67人

【宿泊業・飲食サービス業】当月：375人 前年同月：－25人

[地域別求人倍率]

【鳥取所】当月：1.10倍 前年同月：＋0.02P

【米子所】当月：1.32倍 前年同月：－0.06P

【倉吉所】当月：1.37倍 前年同月：＋0.12P

[正社員関連]

有効求人倍率 1.10倍（10か月連続で前年同月を上回る）

→全国指標 0.99倍（11か月ぶりに前年同月を下回る）

[新規求職者数]

当月：1,675人 （前年同月 1.3%減）